

さいたま新都心 平成12年(2000)に街開きました。このあたりは大宮操車場がありました。

- ・さいたまスーパーアリーナ 37,000人収容できます。東京オリンピック2020の会場となっています。
- ・造幣さいたま博物館 平成28年(2016)10月造幣局のさいたま支局が開局。その博物館には古銭や明治以降の貨幣・勲章等が展示され、また精密な製造工程も見ることができます。
- ・コクーンシティ 片倉工業が管理している商業施設です。大宮に多くの製糸業が明治後半から進出しました。その一つ片倉工業は、昭和14年(1939)に富岡製糸場を買収し50年間生糸を生産しました。操業停止後も大切に管理し平成17年²⁰⁰⁵に富岡市に寄付し、世界遺産登録²⁰¹⁴に貢献しました。

氷川神社 武蔵一宮と呼ばれ、氷川神社は全国に約280社あります。

社記によると、孝昭天皇の御代3年(前473)4月の創立と云われます(約2500年前)

祭神は須佐之男命・大己貴命・稲田姫命の3柱です。

- ・氷川参道 一の鳥居から18丁約2キロ続いています。660本余の樹木はまちのオアシスとなっています。
- ・一の鳥居の石標(社号標) 享保7年(1722)建立『武蔵國一宮 氷川大明神〔本地正観音〕佐々木文山書』、背面には『官幣大社 氷川神社平山省斎謹書』とあります。
- ・大宮区役所 令和元年(2019年)5月7日に図書館とともに移転し、オープンしました。
- ・平成ひろば 戦後の名残りのヤミ市がありました。整備されて市民の憩いの場になりました。
この近くに太宰治が滞在し、「人間失格」を脱稿しました(1948年^{昭和23年}4月29日~5月12日)
- ・二の鳥居 高さ約13メートルの木製大鳥居です。昭和51年(1976)に明治神宮から移築されました。さらに行く、勅使斎館があります。毎年8月1日の例祭には皇室からの勅使をお迎えます。
- ・三の鳥居 昭和9年(1934)当時の片倉製糸が奉獻した鳥居です。
- ・境内は 約3万坪もの広さがあり各社殿を囲むように老木が生い茂り、格式のある楼門 舞殿 拜殿 本殿 および摂社は歴史の重みを感じさせてくれます。
- ・天津神社・門客人神社・御嶽神社 寛文7年(1667)四代将軍徳川家綱の命で建てられました。市指定の有形文化財。
- ・氷川丸に氷川神社、戦艦武蔵に分祀 氷川丸は1930年^{昭和5年}竣工しアトル航路に就航。秩父宮ご夫妻、チャプリン、嘉納治五郎等も乗船。生糸・茶等を運ぶ。海に浮かぶ初の重要文化財指定(2016年) 戦艦武蔵は連合艦隊旗艦でフィリピン沖に撃沈されて71年目の2015年10月24日^{沈没日} 顕彰碑建立。
- ・重修氷川神祠碑 明治15年(1882)、神社造営の記念碑、ほかの2基と同一場所に再整備。

